

新最終処分場 第2回千厩地区説明会

日時 ①令和4年3月5日(土) 午後1時～午後2時30分
②令和4年3月5日(土) 午後3時30分～午後5時
③令和4年3月6日(日) 午前9時30分～午前11時
会場 千厩保健センター

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 説 明

(1) 候補地選定の経過について

(2) 一般廃棄物最終処分場整備基本計画（案）の概要
について

(3) 今後の予定について

4 質疑応答

5 閉 会



一関地区広域行政組合公式LINEアカウント（施設整備関係）

登録方法 ① 二次元コードを読み取ります。

② 「追加」ボタンを押して登録します。

新最終処分場 第2回千厩地区説明会

日 時		場 所
令和4年3月5日（土）	13:00～	千厩保健センター
	15:30～	
令和4年3月6日（日）	9:30～	

一関地区広域行政組合



1

本日の説明内容

- (1) 候補地選定の経過
- (2) 一般廃棄物最終処分場整備基本計画（案）の概要
- (3) 今後の予定

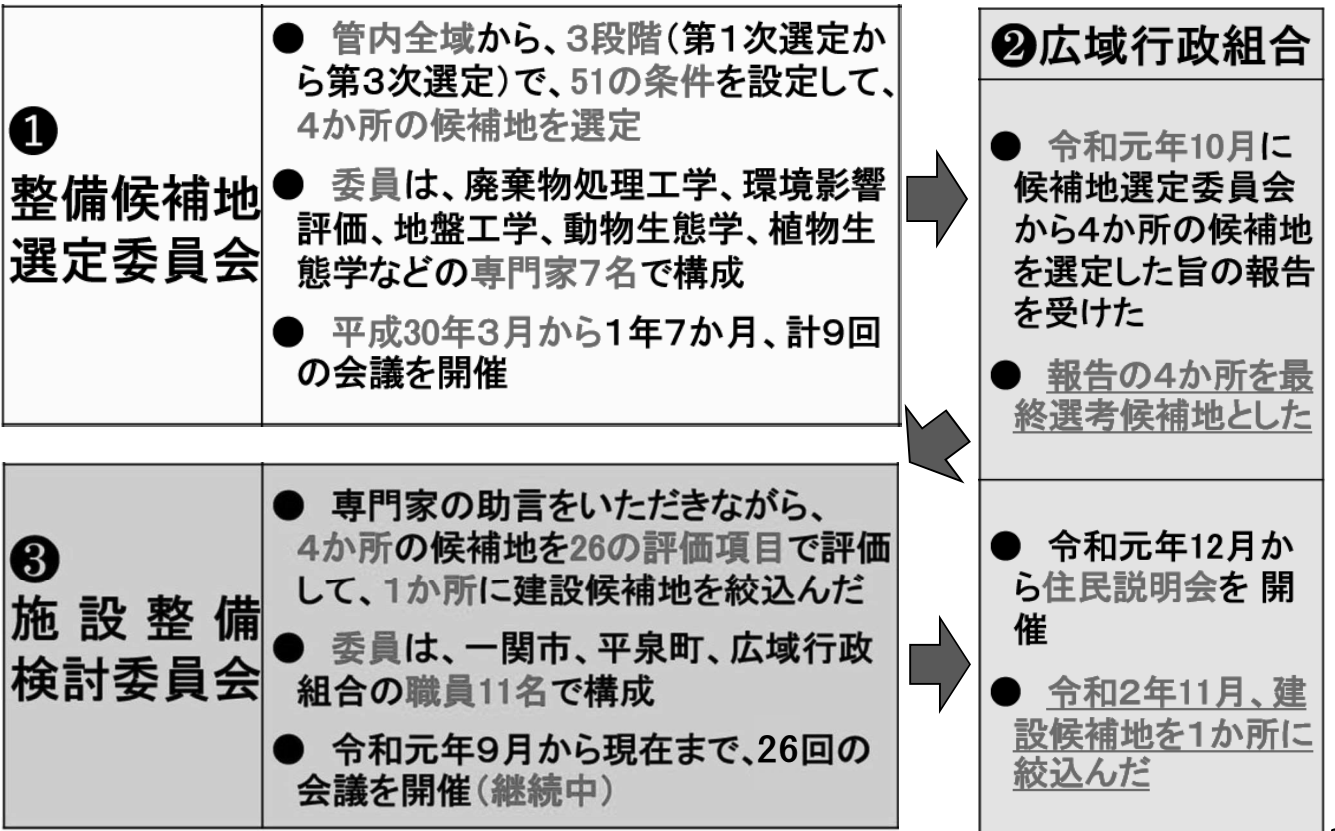


2

(1) 候補地選定の経過



■ 候補地選定の大きな流れ



3

■ 新最終処分場の絞込み条件・評価項目 (77項目)

(整備候補地選定委員会) 絞込みの条件一覧 51項目				土地取得の容易性
自然公園地域	地すべり防止区域	文化財等	公共施設(市町村)	人口重心からの距離
自然環境保全地域	地すべり危険地区	埋蔵文化財包蔵地	道路状況	隣接自治体からの距離
環境緑地保全地域	山腹崩壊危険地区	重要文化的景観	インフラ整備の状況	技術面の評価
鳥獣保護区特別保護地区	なだれ危険地区	巨樹・巨木林	評価対象地人口	土地利用面の評価
国有林	崩壊土砂流出危険地区	景観地区・準景観地区	敷地面積	経済面の評価
保安林	土石流危険渓流	人口分布	道路状況	土地権利面の評価
河川保全区域	地すべり地形分布図	土地造成の容易性	取付道路の有無	その他考慮すべき事項
緑の回廊	浸水想定区域	構造物等の有無	土地の利用状況	自然環境面の評価
砂防指定地	都市計画区域	学校病院からの距離	構造物等の有無	生活環境面の評価
急傾斜地崩壊危険区域	農業振興地域	公共施設(国・県)	土地造成の容易性	総合的評価

(施設整備検討委員会) 評価項目一覧 26項目	
① 安定性に優れた安全な施設	受電環境 給水環境 配水管までの距離 亜炭採掘鉱区 湧水・表流水 土質
② 環境に配慮した施設	交通安全 排水環境 景観との調和 自然環境への影響 生活環境への影響 周辺環境への影響
③ 災害に強い施設	想定される自然災害の種類 施設建設の阻害要因
④ 経済性に優れた施設	造成費 施設建設費 取付道路整備費 用地取得費 運転管理費 運搬費
⑤ その他	総合計画・土地利用計画との整合性 協働による地域づくり 利用者の利便性 想定地権者数 想定筆数 工事環境

4

■建設候補地

各委員会の評価により、新最終処分場の建設候補地は、

千厩町千厩字北ノ沢ほか

が最適であると評価した。

5

(2) 一般廃棄物最終処分場整備基本計画（案）の概要



組合では、施設整備基本計画を策定中。

計画策定の目的

- 一関地区広域行政組合では、現在管理している最終処分場の舞川清掃センター、花泉清掃センター及び東山清掃センターの埋立容量が残り少なくなっている。
- 本計画は、新たな一般廃棄物最終処分場（以下「新最終処分場」という。）を整備するため、施設形式や施設規模、環境保全対策など基本的な事項について考え方をまとめるものである。

6

施設整備基本方針

新最終処分場整備基本方針を設定。

① 安定性に優れた安全な施設

- ・ 信頼性の高い技術や工法を取り入れ、施設の運営及び維持管理において安定性に優れた安全な施設
- ・ 耐久性に優れ、廃棄物を長期間にわたり安定的に処理できる施設

② 環境に配慮した施設

- ・ 環境負荷の低減と施設周辺的生活環境の保全に配慮した施設
- ・ 廃棄物の処理や環境保全の啓発・学習にも活用できる施設

③ 災害に強い施設

- ・ 災害時でも稼働し、災害廃棄物を受け入れられる施設

④ 経済性に優れた施設

- ・ 建設から維持管理までの費用対効果の面で経済性に優れた施設

7

施設整備の基本的事項

1 埋立対象物

埋立対象物は、以下のとおり。

- ・ 焼却残渣
- ・ 不燃残渣
- ・ 不燃物

2 埋立期間及び規模

全体埋立期間 25年 施設全体規模 126,800 m³
(内訳)

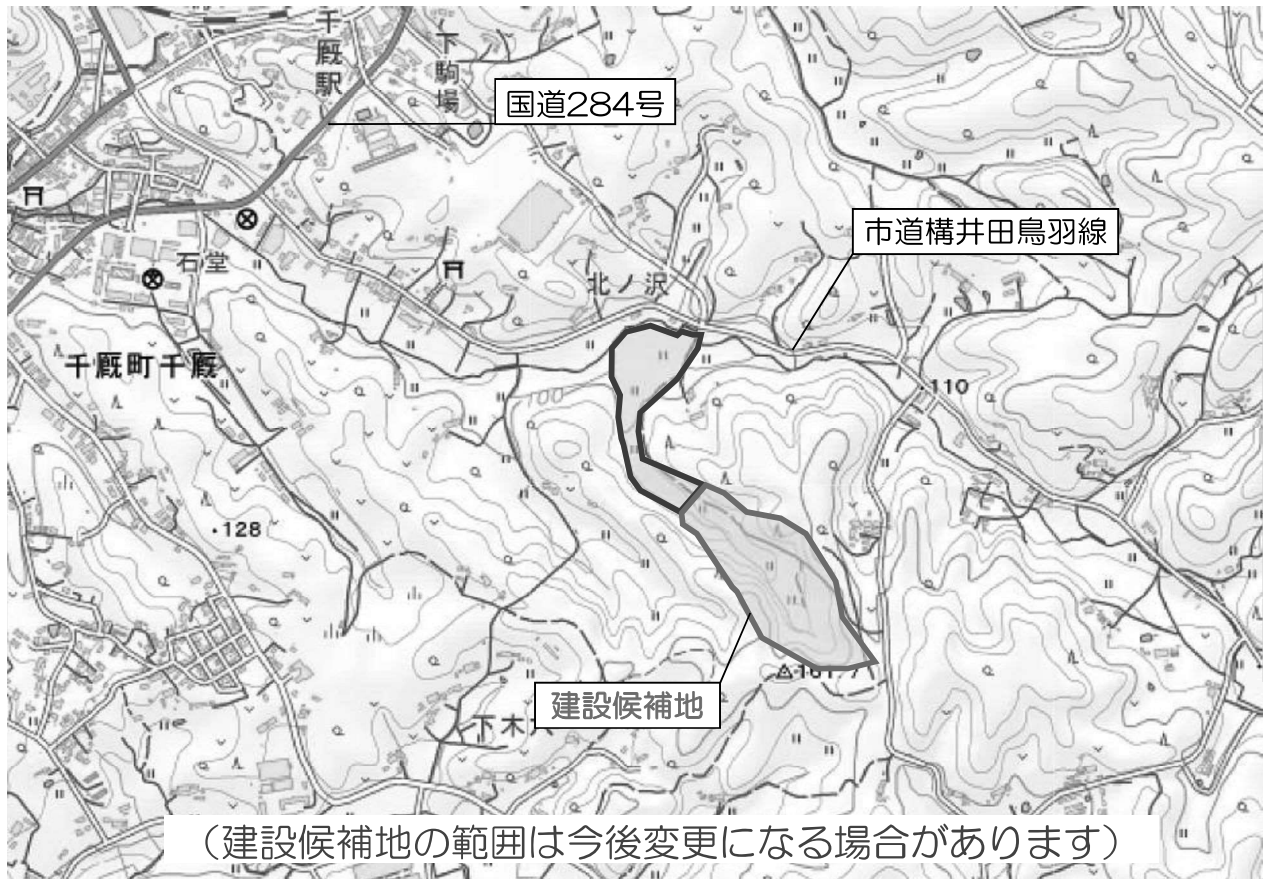
第1期 埋立期間 15年 埋立規模 80,600 m³

第2期 埋立期間 10年 埋立規模 46,200 m³

8

3 建設候補地の位置

所在地：一関市千厩町千厩字北ノ沢ほか



9

4 施設形式

施設形式は、国内で導入実績がある「オープン型」と「クローズド型」の利点と課題を整理し、比較検討により「オープン型」とした。



- ※ 「オープン型」は、屋外開放型で屋根などが無い形式。
- ※ 「クローズド型」は、屋内閉鎖型で埋立地を屋根などで覆う形式。

10

施設計画

1 施設配置計画

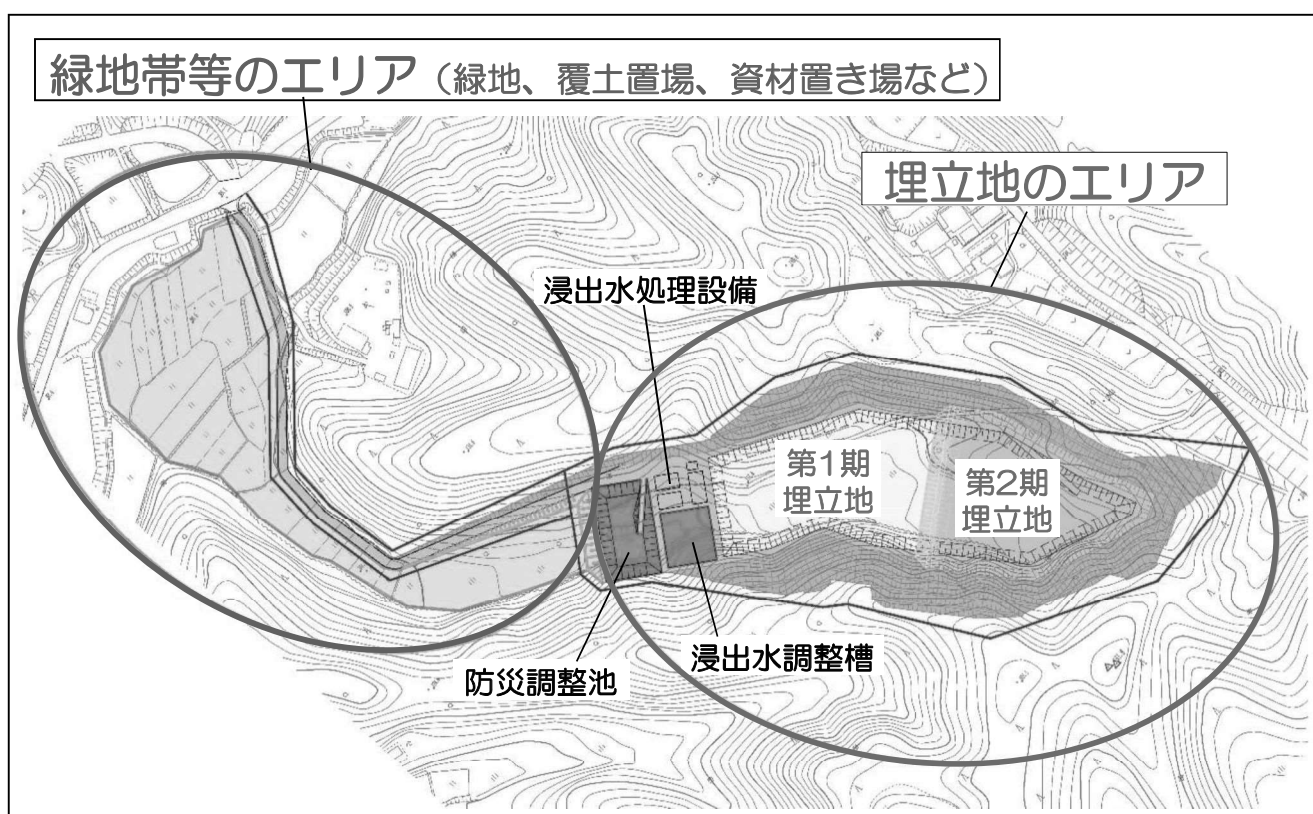
- 整備する施設は、埋立地のほか、管理棟・計量棟、浸出水処理施設、浸出水調整槽、搬入路、防災調整池、緩衝緑地など

※ 浸出水は、埋立地に流入した雨水などが埋立層を通過してしみ出した水

- 埋立地は、第1期埋立地及び第2期埋立地の全体で126,800 m³の埋立容量を確保するものとして、安全性や動線効率、埋立作業性、経済性などを総合的に勘案して計画。

11

図1 施設配置の例



(配置は、変更になる場合があります)

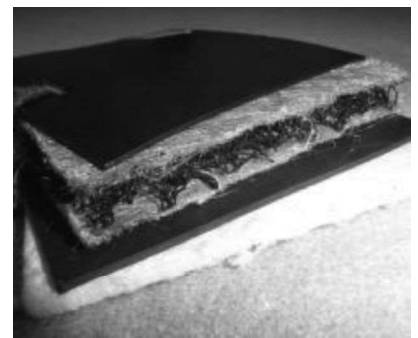
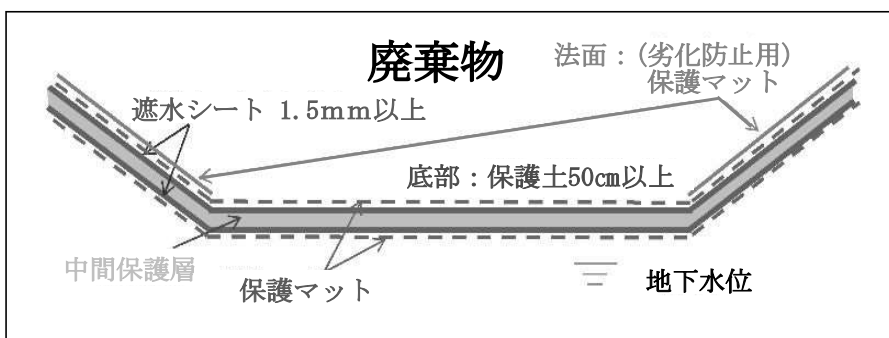
12

2 貯留構造物計画

貯留構造物は、建設候補地が沢地形であることから、埋立地エリアの北西側に堰堤（堰き止めタイプ）を配置して締め切ることにより廃棄物を貯留する。

3 遮水工計画

浸出水の流出防止を目的として、十分な強度、耐久性、確実な施工性、容易に損傷しない「二重遮水シート」による遮水構造を採用。



13

4 漏水検知システム

漏水検知システムは、万が一の遮水シートの破損に備え、常に漏水の有無をモニタリングするシステムであり、漏水箇所の特定精度が高い「電気式検知法」の採用を検討する。

5 浸出水処理施設と浸出水調整槽の規模

浸出水処理施設と浸出水調整槽の規模を設定するにあたり、

- 埋立地に雨水などの内部貯留が生じないこと。
- 過去30年間の降水量データなどを基に、水収支計算を行い、合理的な規模関係が得られるところで設定。

14

- 浸出水処理施設の規模 120 m³/日
- 浸出水調整槽の規模 3,329 m³以上

(最終的な規模は、基本設計において決定する。)

- ※ 浸出水処理施設は、埋立地からの浸出水の放流先の公共水域や地下水を汚染しないよう安全な水質に処理するための施設。
- ※ 浸出水調整槽は、埋立地からの浸出水を浸出水処理施設に定量的に送るために、浸出水を一旦溜めておく水槽。

15

6 計画放流水質

計画放流水質は、より安全・安心な施設とするため、技術的に可能であり合理的な範囲で法定の基準よりも厳しい独自の基準として定める。

表1 計画放流水質

項目	排水基準値 (性能指針)	計画放流水質
pH (水素イオン濃度)	5.8 ~ 8.6	6.5 ~ 8.5
BOD (生物化学的酸素要求量)	60 mg/ℓ 以下 (20 mg/ℓ 以下)	10 mg/ℓ 以下
COD (化学的酸素要求量)	90 mg/ℓ 以下	10 mg/ℓ 以下
SS (浮遊物質量)	60 mg/ℓ 以下 (10 mg/ℓ 以下)	10 mg/ℓ 以下
大腸菌群数	3,000 個/㎖以下	3,000 個/㎖以下
ダイオキシン類	10 pg-TEQ/ℓ 以下	10 pg-TEQ/ℓ 以下
その他の項目	排水基準値以下	排水基準値以下

16

1 水質汚濁防止対策

- 水質管理は、現在の施設と同様に日常監視を行い、計画放流水質、基準省令に定められた水質検査（1回/月以上：pH、BOD、COD、SS、1回/年以上：排水基準に係る項目）を実施する。

2 騒音・振動対策

- 建設候補地は規制対象区域外であるが、生活環境影響調査の結果を踏まえ、対応を検討する。
- 浸出水処理施設の機械室は、防音材による対策を、使用重機は低騒音型を採用する。

17

3 臭気対策

- 臭気は、近年、有機物の埋立処分を行わなくなったことにより、問題が発生する事例は少ない。
- 即日覆土を励行により対策する。

4 飛散防止対策

- 近年、飛散しやすいビニール、プラスチック類をそのまま埋立てることがなくなり、問題が発生する事例は少ない。
- 埋立地の周辺にネットフェンスを設けるなどして対策する。

18

事業スケジュール

新最終処分場は、令和8年度中に供用開始する計画

表2 事業スケジュール

年度 項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
地形測量	■					
地質調査	■					
基本設計		■				
用地測量			■			
用地取得			■			
生活環境影響調査		■	■			
実施設計			■			
建設工事				■	■	■
供用開始						★

19

(3) 今後の予定



■ 令和4年度の予定

- 基本設計
- 生活環境影響調査
- 新最終処分場の先進事例視察

■ 令和5年度の予定

- 実施設計、用地測量、物件補償費調査、不動産鑑定
- 用地取得
- 生活環境影響調査（2年目）

20

ご清聴ありがとうございました。

